

# 学校評価アンケート 後期結果

R8.1.26

12月末に行った学校評価アンケートにご協力くださりありがとうございました。これからも、「チーム南条」として、保護者の皆様と学校が手を取り合って、南条っ子を見守り、支えていきたいと思えます。いただいたご意見は、真摯に受け止め、今後の教育活動に生かしていきます。

アクションプランを中心に、結果をお知らせします。

## ①学習について



アクションプラン「自分の思ったことや考えたことを伝えようとしている」は児童最終目標値85%以上を達成しました。前期学校評価よりも5%以上上がり、89%となっています。これは、「なかよく友達と活動している」の項目で、約98%の児童が肯定的に回答しているなど、「間違っても大丈夫」「否定されない」といった安心できる学級、そして、仲間の考えを温かく受け止めようとする南条っ子のよさが関係していると考えられます。

また、授業では自分の考えをもつ時間や自分の考えを伝える場を大切にしています。ペアやグループで自分たちの考えについて話し合い、問題解決を図っていく経験も評価の向上につながっていると感じます。更には、学習発表会において、せりふ、歌、身体表現等、様々な方法で表現したことが、児童の自信や達成感につながっているようです。いろいろな場面で保護者の方から応援いただいたことも児童の大きな励みになっています。日々の子供たちの頑張りが伝わるように学校のホームページを更新していきます。ぜひ、ご覧ください。

また、「家庭学習をしている」について児童の肯定的な回答は前期学校評価より約4%、保護者の肯定的な回答は約6%上がっていました。家庭学習については、「学んだことを定着させる」「自分で学ぶ力を育てる」「学ぶ習慣を身に付ける」ために大切な時間となります。ご家庭での温かい声かけが、児童の学びを支えると思えます。学校と家庭で連携し、家庭学習を進めていければと思っております。「進んで読書している」に肯定的に回答している児童・保護者も前期学校評価よりも約6%上がっています。今年度は、「週末読書」を呼びかけ、週末に学校図書を持ち帰っています。ご家庭でお時間がある際には、一緒に本の世界にふれ、心と言葉を豊かに育てる時間を設けていただければ幸いです。

## ②生活（心）に関することについて



アクションプラン「元気に「おはよう」や「さようなら」のあいさつをしている」は、児童の約94%、保護者の約89%が肯定的な回答をしています。1年間を通して運営委員会が毎朝あいさつ運動を実施し、あいさつ名人を紹介したり、挨拶の大切さを広めたりしてきた成果だと思えます。冬季は寒さの影響からか、声が小さくなりがちですが、これからもどのような挨拶がよいか、どうすればできるかなど、児童と目標をもつ時間や振り返りを大切にしながら、家庭・学校・地域で挨拶の輪を広げていけたらと思えます。

「友達に温かい言葉で話している」では児童の約96%、保護者の約93%が肯定的な回答をしています。2学期には、縦割り班での校外学習「笑顔いっぱいプロジェクト～おとぎの森公園で遊ぼう～」を行いました。異学年交流を通して上学年は思いやり・責任感をもって行動すること、下学年はその姿に憧れ、目標をもつことができました。互いのよさが生きる関わりをこれからも大切にしていきたいと思えます。

その一方で、友達との関わりの中での何気ない一言で相手を傷つけてしまう場合もあります。「笑顔いっぱいの学校」を目指し、相手の気持ちを考えて話すことや違う言葉での言い換えを促すとともに、温かい言動に目を向け、そのよさを広めることなどの取組を継続して進めていきたいと思ひます。また、日頃の様子や各種アンケート等を通して、人間関係の把握、小さな変化を見逃さず、一人一人が安心して登校できるように支援してきたいと思ひます。

### ③体力・健康に関することについて

アクションプラン「自分なりの目標に向かって運動をしている」は、児童の約94%、保護者の約88%が肯定的な回答でした。

今年度も昨年度に引き続き、持久走の学習において、記録会を実施せず、自分のベストタイムを目指して、体育の授業で継続して計測しました。自分の立てた目標を意識し、「自分の成長」を感じられた児童も多かったのではないかと考えます。

また、「いつも朝ごはんを食べて学校に来ている」では、肯定的な回答が児童・保護者ともに95%以上となっています。一方で「早寝早起き」では、児童の肯定的な回答が約85%、保護者の肯定的な回答が約78%となっています。今年度、本校では保健の研究指定を受け、「心身ともに健康で安全な生活」を送れるように自分自身の生活を見直し、実践していくことができる南条っ子を目指して学習を進めています。基本的な生活習慣はよりよい生活を送るための源です。一緒に「メディア通帳」に取り組む、学校から配付される保健だより等のお便りを子供と読むなどの取組をしていただければ嬉しいなと思ひます。また、メディアとの向き合い方についても使用する時間や場所、マナー等の使い方について学校・家庭で連携し、伝え続けていくことができればと思ひます。

今後とも、ご理解・ご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

